

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《地域》
- 2 単元名 『木の子の昔のくらしや道具について調べよう』（全20時間=実施時期：2月～3月）
- 3 単元のねらい

木之子町の昔のくらしや使われていた道具を調べ発表することで、解決の手順や方法に見通しをもって取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力を育てる。

- 4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢いの仕掛け、引き出された子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		木之子町の人々はどんな道具を使って、どんなくらしをしていたのか、考える。	地域の方に話を聞く。 資料を読む。	個人でワークシート（Googleスライド）にまとめる。	ポスターにまとめお互いに発表する。
出逢いの仕掛け	もの	地域の方の話	地域の方の話を聞く。 資料を読む。	ワークシート（Googleスライド）にまとめる。	ポスターにまとめる。
	ひと		地域の方の話を聞く。 資料を読む。	ワークシート（Googleスライド）にまとめる。	ポスターにまとめる。
	しごと（こと）				
引き出された姿	いばら愛 <small>（郷土愛と当事者性）</small>	木之子町の人々のくらしのうつりかわりについて知る。	木之子町の人々のくらしのうつりかわりについて知る。		
	やり抜く力 <small>（忍耐と向上心）</small>			調べて分かったことをワークシート（Googleスライド）にまとめる。	
	まき込む力 <small>（発信と協働）</small>				ポスターをお互いに発表する。

- 5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「市のようすとくらしのうつりかわり」

- 6 他学年、他校（園）種との連携・接続・交流

7 単元の流れ（探究過程）と活動の実際

課題設定

社会科「市のようすとくらしのうつりかわり」で木之子町の人々はどんな道具を使って、どんなくらしをしていたのか、投げかけ、課題意識をもつ。

調べてみたいことを出し合う。

「木之子地区で昔から使われていた道具」について調べることに決定

情報収集

どうやって調べたらよいかを出し合う。

- ・本
- ・インターネット
- ・人に聞く

自分に必要な資料、方法を考えて、そこから情報収集をする。

七輪体験をする。



整理・分析

個人で調べたこと、分かったことをワークシート（Google スライド）にまとめる。

(例)



このなま突はだしじゆのうです。これはすみをいれたままゆかにおけます。この道具はいろいろのすみびやすみをつくることができます。

個人がまとめ方や内容を決める。

まとめ・表現

ポスターにまとめる。

一人ひとり発表し、感想を伝え合う。

8 成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○自分の地域での昔の暮らしぶりについて、興味をもって調べて発表することができてよかった。

△道具とくらしのつながりが見えづらかったので、地域の資料館などに行って道具について話をきく時間があるとよかった。

☆見学に行って昔の道具などにふれておくと、地域の人に話を聞いた際に実感をもって話を聞くことができる。